

深堀中学校 平和宣言

今から78年前の1945年8月9日11時02分、長崎に一発の原子爆弾が落とされました。その日は良く晴れたいつもと変わらない夏の日になるはずでしたが、一瞬にして7万人以上もの尊い命が奪われました。また、この原子爆弾の惨禍を生き延びられた被爆者の方々はその後も多くの苦しみを経験されることになりました。

1年生は“被爆の実相を知る”ことをテーマに、「長崎の原爆」について、被爆遺構巡りや被爆体験講話・被爆体験継承講話を通して原爆の被害の大きさや被爆者の方々の思いを学びました。

2年生は“戦争の構造を学ぶ”をテーマに、「太平洋戦争」「特別攻撃隊」「戦時中の生活衣食住」について調べ、まとめました。

3年生は“平和な社会の創造に向け、発信する”をテーマに、「平和な社会の実現のために必要なことは何か」を考え、朗読や歌にして、平和への思いを発信しました。過去の戦争や現在起きている問題について、平和の担い手としてこれから何ができるかを考えました。

私たちは平和学習を通して、本当の平和とは何か改めて考え、自分なりの意見を一人ひとりもつことができました。それでも世界では、さまざまな争いが起きており、今もたくさんの尊い命が奪われています。

私たちが平和の実現のためにすべきことは、一人ひとりが身近な平和について考え、行動を起こすことです。深堀中学校では、だれもが幸せと感じられる場所であり続けるべきです。そのために、

- 一、これからも平和について学び続け、次の世代へとつないでいく
- 一、あいさつからはじまる人とのつながりを大切にする
- 一、視野を広くもち、自分の言葉や行動を冷静に考え、互いの違いを認め合う

世界中の人々が心の底から笑って過ごせる日が訪れることを信じて、小さな一歩かもしれませんが、平和への第一歩を踏み出します。戦争で亡くなった方々の思いや平和を築いていこうとする方々の思いを決して忘れることなく、今この瞬間にも苦しい思いをしている方々の気持ちに寄り添い、この三か条を深堀中学校生徒全員が守っていくことをここに宣言します。

2023年8月9日
深堀中学校生徒会